

はやま住民福祉センターだより



今月のテーマ

よりよい連携のために～個人情報とプライバシー情報への配慮～

日頃の地域活動の中で、個人情報やプライバシーへの配慮の仕方でお悩みはありませんか？個人情報やプライバシーの保護はとて大切なことですが、過度な対応は、地域のつながりを弱めたり、日頃の地域活動や災害時の助け合いに支障をきたすことが考えられます。

誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現のためには、助け合い・支え合いなどの地域福祉活動において、住民活動間や住民・専門職間が連携しながら課題解決にあたるのが、ますます重要となっています。

円滑な連携のために、地域福祉活動における個人情報やプライバシー保護の正しい知識や、情報共有における必要な配慮と日頃の支援に活かせるコツや工夫を学ぶ研修会を2月28日に開催しました。



駒澤大学の川上富雄先生にご登壇いただいた本研修会では、個人情報保護法に基づいた解説や、福祉事業所(専門職)としての対応、民生委員としての対応を例に、

- 情報収集の目的や取り扱いについて本人にきちんと説明が必要であること
- 個人情報を第三者に提供(共有)する時は、原則本人の同意が必要であること
- 上記に同意してもらえる信頼関係が重要であること
- 情報を「出す」「出さない」の二者択一だけでなく、「誰にまで」「どこまで」「どのように」なら伝えてよいか、情報の出し方の工夫や確認も大事であること

などが伝えられました。そもそもよく知らない人(団体)に自分の情報を知られるのは、抵抗感のある人が多いもの。本人の暮らしを支援するために、支援者間の情報共有の必要であることを理解してもらい、よりよい連携のもと地域での福祉活動が進められるようにしていけたらよいのではないのでしょうか。

本研修には、住民・専門職合わせて50名以上の方がご参加いただくなど、皆さんの関心の高さがうかがえました。今後も地域での福祉活動に役立てていただきたい内容をテーマにした学びの機会を提供していきたいと思っております。



◆ 新年度の「はやま住民福祉センター」の重点事業

令和6年度は、主に以下4点の方針で重点的に取り組んでいく予定です。

- (1) 第3次葉山町地域福祉推進プラン(=次期計画)の策定
 - ・ 現行の地域福祉推進プランの取り組みの推進とともに、住民や関係団体・機関、行政等の参画のもと、令和7年4月からスタートする次期計画を策定します。
- (2) 地域福祉総合相談の充実・強化
 - ・ 断らない総合相談を窓口に、地域住民活動団体や専門相談機関等と連携・協働しながら、あらゆる生活相談や活動相談の解決に向け取り組みます。
- (3) あらゆる世代への“福祉教育”を推進
 - ・ “福祉教育”を広く捉え、町内小中学校が行う福祉の授業への支援、地域住民の方々などが様々な地域生活課題の解決に向けた実践につながるような取り組みを推進します。
- (4) 「生活支援体制整備事業第2層協議体」の充実・強化
 - ・ 各地域の福祉関係団体等が地元の地域生活課題について協議・検討する「第2層協議会」の全域(8地区)での設置・運営を行い、各地域性にもとづいた住民主体の“助けあい・支え合い”の取り組みをさらに推進します。

令和6年度もどうぞよろしくお願いいたします！

葉山子どもわかもの情報掲示板「ちーぐる」立ち上がりました

令和5年9月に葉山子どものための人材バンクと葉山町社協で共催した「シンポジウム・交流会『地域ぐるみで葉山の子どもたちのためにできること』」開催をきっかけに、横につながった葉山での子ども・若者支援(関連)団体の管理・運営による情報掲示板ができました。(主な団体:葉山子どものための人材バンク、はやま食卓プロジェクト、みんなで見守る葉山の子、わかりあ、HAYAMA居場所プロジェクト、一色中央子ども会 ほか〔順不同〕) ※どなたでも参加(グループ参加、情報の閲覧、投稿)できますが、投稿は承認制です。

<https://www.facebook.com/groups/hayama.kids.youth>
(グループ参加、投稿にはFacebookアカウントが必要)

不登校・ひきこもりの家族会 葉山ゆずり葉の会

- 日時: 4月25日(木) ※ZOOM参加も可
10:00～11:30 不登校の子の家族
13:30～15:00 ひきこもりの人の家族
- 会場: 葉山町福祉文化会館 2階第2集会室(イスあり)
ゆずり葉の会 zushi.yuzurihanokai@gmail.com